

平成27年12月18日

保護者 各位

鹿児島県立甲南高等学校
校長 海江田 修 誠

保護者による「学校評価」（第2回）について

保護者の皆様におかれましては、平素から本校の教育活動に対し御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本校では、教育方針である「地球規模でものを考え行動するリーダー」として高い志を持った品格ある生徒の育成を目指した教育活動を行っているところですが、生徒たちの学校生活を一層生き生きと実りあるものにするために、学校の教育活動や組織等に関して、保護者による学校評価を実施することにしております。つきましては、**12月24日（木）まで**に下記の項目について御回答、御提出くださいますようお願いいたします。なお、回答に迷う事項については無記入のままで構いません。

回答方法：各項目について4段階で評価し、該当する番号を一つだけ○で囲んでください。

よくあてはまる = 4
(満足している/大変努力している)

ややあてはまる = 3
(やや満足している/努力している)

あまりあてはまらない = 2
(あまり満足していない/あまり努力していない)

全くあてはまらない = 1
(不満である/努力不足である)

	質 問 項 目	該当する番号を○で囲む			
1	本校の教育は、「地球規模でものを考え行動するリーダー」の育成を目指したものになっている。	4	3	2	1
2	SGH事業（裏面参照）の取組が、将来のグローバル・リーダーとなり得る甲南生を育成している。	4	3	2	1
3	本校の授業や課題は、適切な計画に基づいて内容・レベル・進捗等が設定され、生徒個々の能力を伸ばすものになっている。	4	3	2	1
4	本校の授業を通して、自分の考えを自分の言葉で表現する力が生徒に育成されている。	4	3	2	1
5	生徒指導における学校の取組は適切で、生徒の主体性・自主性を養うのに役立っている。	4	3	2	1
6	本校の進路指導により、生徒は将来どのように社会と関わっていくかを意識し、学習に取り組む意欲が向上している。	4	3	2	1
7	本校の進路指導は、それぞれの時期に応じた適切な指導により、生徒の可能性を伸ばすものである。	4	3	2	1
8	学校は、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、施設・設備の整備に取り組んでいる。	4	3	2	1
9	学校は、遅刻・欠席等の連絡について、保護者との連携が十分に取れている。	4	3	2	1
10	学校は、学校行事やPTA活動に関する情報や校内での生徒の様子についての情報を適切に保護者に提供している。	4	3	2	1

※ 個人を特定するものではありませんので、率直にお答え下さい。

甲南塾

年に3回実施します。社会の第一線で活躍されている先輩の考え方、生き方を学び、甲南生としての意識啓発を図り、そのアイデンティティを高めるために在校生と卒業生が直接的に関わり合う場として実施しています。

【直近3回分の実施内容】

回	日時	講師	講演テーマ
H27 1	H27. 1. 28	北 蘭 るみ子 氏 (25期) ソプラノ歌手	花は咲く～美しい声の表現(バルカント)を求めて～ Chiara (はっきり) Fresca (新鮮に) Dolceacqua (甘い水の様に)
H27 2	H27. 5. 25	砂 田 光 紀 氏 (33期) オフィスフィールドノート代表	宇宙周遊一笑中 ～旅路の彼方に輝くもの～
H27 3	H27. 11. 2	本 田 洋 氏 (28期) 本田動物病院 院長	鹿児島で暮らし、 そして日本を、世界を見よう

平成27年度 KI Project/W-KI Project について

本校の『総合的な学習の時間』は『KI Project』として実施してきました。今年度より文部科学省のSGH(スーパーグローバルハイスクール)指定校の認定を受け、1年生全員と2年生該当生徒については新たに『Wazze Konan!! Innovation Project (W-KI Project)』として、特に人口問題に起因する諸問題の解決を目指して、課題研究に取り組んでいきます。国内外の事例を参考にし、地域・世界の持続可能な発展に寄与する論理的かつ積極的提案のできるグローバルリーダー(21世紀薩摩スチューデント)育成を目指したプログラムを展開していきます。

【1学年(W-KI)】

①テーマ学習

人口問題にテーマを定め、外部講師による講演も行いながら、世界・日本・鹿児島レベルで抱える問題・解決策について考察する。

②表現力研修

プロの講師を招き、表情・身体表現・言葉による表現力を高める研修を実施する。

③職場訪問

県内の各業種で活躍されている卒業生の方々の職場を訪問し、望ましい職業観を養う。

④ディベート活動

グループ単位で実施する。情報収集・分析力、論理的思考力、情報発信力の向上を目指す。

⑤『学び台湾(海外研修プログラム)』参加希望調査→書類選考等を経て、参加者を決定

少子高齢社会に直面する台湾の現地高校生・大学生とのディベート・交流等を通してグローバルな視点を養い、さまざまな問題解決に取り組む生徒の育成を図る。

【2学年(KI)】

①テーマ学習、マスターピース作成

人口問題に関連した内容について、地域事例研究を深めていく。また、各々で興味関心を持った学問分野で研究内容を設定し、膨大な量の情報を分析・再構築しながら自分なりの仮説を立て、その信憑性について実験・考察を重ねながら、1つの論文を作成する。

②職場訪問

修学旅行の行程内で、関東一円の各業種で活躍されている卒業生の方々の職場を訪問し、確かな職業観を深めていく。

③ブラッシュアップセミナー(出張講義)

学問系統別に県内外の大学から講師を招き、大学で行われている研究についてのガイダンスやその分野で現在注目されているトピックに関する講義を受け、進路意識の高揚を図る。

④『学びにUK(海外研修プログラム)』(W-KI)参加希望調査→書類選考等を経て、参加者を決定

(i) 英語によるマスターピース作成、プレゼンテーションに挑戦する。

(ii) プロの講師による表現力研修も実施。

(iii) 人口問題を主テーマとし、移民受入に長い歴史を持つイギリスの現地高校生・大学生とのディベート・交流等を通し、国際社会で活躍するリーダーとしての視野拡大、意識高揚を図る。

【3学年(KI)】

○マスターピース発表会

2年次にまとめた課題研究を再検討し、各系統で課題研究の発表会を実施する。自分で調査研究した成果を整理し、論理的かつ明確な表現の工夫を学ぶ。また、他の生徒の発表内容・方法も参考にし、更なるレベルアップを図る。